

病診

～ 心と心のふれあう医療 ～
JA静岡厚生連
遠州病院



令和4年6月号



〒430-0929
静岡県浜松市中区中央1-1-1
TEL (053)453-1111 (代表)
(0120)928-901 (病診連携室)
byohshin@ken-ja-shizuoka.or.jp

発行責任者： 室長 石塚 知己

連携室だより

患者支援センターのご紹介



病気やケガで入院もしくは通院の必要が生じると、身体的な問題だけでなく、様々な不安や心配事を抱えることがあります。



患者支援センターでは、入退院支援看護師と医療ソーシャルワーカーが、患者様とご家族様が抱える多様な問題に対応し、より良い状態で治療に臨み、安心した療養生活を過ごしていただけるよう、一緒に考え支援させていただきます。

配置人数（令和4年6月1日現在）

医師 1 名、入退院支援看護師 5 名、医療ソーシャルワーカー 5 名



患者支援センターの
主な役割については
裏面に記載しています→

患者支援センターの主な役割を紹介させていただきます。



①入院時支援

入院や手術は患者様、ご家族様にとって不安が大きい出来事となります。入院が決まった一部診療科の患者様に、事前にオリエンテーションを行い、不安や疑問の解消に努めるとともに、入院・手術に向けて心身の準備ができるようお手伝いを行っています。

また、退院後に起こりうる問題を予測し、退院に向けて準備や調整が必要な場合は、病棟や治療チームと情報を共有し、入院前から退院後の生活を見据えた支援を始めています。



②医療福祉相談

病気やケガ、障害によって生じる生活上の問題全般について、相談に応じています。また、秘密については固くお守りしています。以下相談内容例。

- 福祉制度や公的制度（介護保険・障害者手帳・生活保護など）の利用の相談
- 医療費に関する相談（医療費、生活費、介護費用など経済面での心配）
- サービス利用や入所についての相談
- 意思決定についての相談（何をどのように決めたら良いか分からない）等

③退院・転院支援

入院すると必ず退院する日が訪れます。退院の話が出てから退院について考えるのではなく、入院時から退院後の過ごし方について話し合うことが大切です。

そのため当院では、入院患者様に対して入院3日以内に、退院を困難にする要因が無いか評価し、支援の必要がある方には、計画を立てて支援介入を開始しております。

退院先はご自宅以外にも、他院や施設も選択肢として挙げられるため、患者様の状態や退院先候補の情報をもとに、患者様・ご家族様の意向を確認しながら、退院へのお手伝いを行っています。

医療的ケアの継続・介護サービスの調整・訪問診療の新規介入等で支援が必要となる際は、地域の医療機関やサービス事業所を交えてカンファレンスを開催しています。



患者・家族の皆様が不安なく通院・入退院ができるよう、チーム一丸となり患者支援の体制を整え、病院から地域へ、医療と介護が途切れることなくつながり、住み慣れた地域で患者様が安心して暮らせるように日々努めてまいります。

今後とも患者支援センターをよろしく願いいたします。